仕 様 書

1. 品目　　X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ （FPD）

2. 数量　　1 台

3. 使用目的

HIMAC 棟および新治療棟では治療室（5室）及びシミュレーション室（2室）で2方向 X 線患者位置決めに X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ （FPD）14台をルーチン的に臨床運用している。これらに不具合が生じた場合、患者治療が中断して患者の臨床経過に影響をおよぼすため、予備品として FPD を整備する。

4. 納入期限　平成 26年3月31日

5. 仕様

・HIMAC 棟での患者位置決めに用いている FPD8台と互換性を有すること。
・新治療棟で患者位置決め用いている FPD6台と互換性を有すること。
・現在運用中の14式の FPD の予備品として整備し、これらのいずれかの FPD に不具合が生じた場合に、早急に交換でき、かつその他の患者位置決めシステム（FPD 架台、位置決め用ソフトウエア、X 線発生装置との連動）は変更せずに利用できること。ただし、本件は交換作業は含まない。
・HIMAC 棟で用いている FPD との交換の際には FPD 架台への設置フレームを別途支給する。
・FPD の基本的な機能は下記の通り

検出素子のサイズ：0.16mm×0.16mm以下
読み取り画素数：2200×2200 以上
撮像可能範囲：350mm×350mm以上
FPD本体の重量：4Kg 以下（片手で持てるような構造）
電源・電圧：AC100V±10%、50/60Hz （通常の室内コンセント）
使用温度範囲：5～35℃（湿度 30～75%）
出力階調：12bit（4096 階調）以上であること。
本装置の基本部分は、納入時点で日本での医療機器承認を受けていること。

・現在臨床運用中の FPD 装置は、キャノン CXDI－50C（HIMAC 棟）、CXDI－55C（新治療棟）である。

6. 納入品：　X 線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ （FPD）　・・・・ 1台
取扱説明書　・・・・ 1冊

7. 納入場所　重粒子線棟 MB2

8. 検査　仕様を満たす納入品であることの確認をもって検査合格とする。

部課（室）名　重粒子医科学センター　物理工学部
使用者氏名　　福 田 茂 一